

傷つくことも傷つけることも防ぐために
知っておいてほしいキーワード……………③

【LGBT(Q)=エルジービーティー(キュー)】

実に多様な性のありよう

「人数が多い=正しい」のではなく、それぞれを尊重しよう

男はこう、女はこうと二つに分けて考えられがちですが、性は、そのように単純なものではありません。生物学的な「性的特徴」だけでなく、自分がどの性別かと認識する「性自認」、恋愛感情や性的な関心の対象がどの性別に向くかの「性的指向」、服装やしぐさ、言葉づかいといった「ジェンダー表現」など、性を構成する要素(下図)はさまざまで、そのあり方も多様です。

「性的マイノリティ」は、この多様な性のありようの中で、少数派の人々全体を総称するものですが、右ページの表に示した言葉の頭文字から一部を取って、一般に「LGBT」あるいは「LGBTQ」とも呼ばれています。

大切なのは、さまざまなあり方を知り、数が多いあり方を正しいとするのではなく、それぞれが尊重されることです。

性を構成する要素

性自認

「男性である」「女性である」「男性と女性のどちらでもある」「どちらでもない」などといった、性別の自己認識・アイデンティティ

ジェンダー表現

服装、しぐさ、言葉づかいなどで性別に関し、なされる表現

性的指向

恋愛感情や性的関心の対象がどの性別に向くか(好きになる性)

性的特徴

性器、染色体、ホルモンなど性に関する身体的特徴



さまざまな性的マイノリティ

性的指向 (恋愛感情や性的関心の対象がどの性別に向いているか)			性自認 (自分がどの性別かの認識)
L	G	B	T
レズビアン 性自認が女性で、性的指向が女性に向く人	ゲイ 性自認が男性で、性的指向が男性に向く人	バイセクシュアル 異性を好きになることもあれば同性を好きになることもある、性的指向が同性・異性どちらにも向くことがある人	トランスジェンダー 出生時に割り当てられた性別とは異なる性を生きる人、生きることを望む人(トランスジェンダーの定義には幅がある)。性同一性障害者を含む
Q	A	X	
クエスチョニング 性自認や性的指向が明確ではない人、探している人、決めかねている人、決めていない人	Aセクシュアル (アセクシュアル) 恋愛感情や性的関心を他者に対して抱かない人	Xジェンダー (エックスジェンダー) 男性・女性に二分できない性自認を持つトランスジェンダー	

ともに生きていることに目を向けよう！

「自分の周りにLGBTの人はいない」と思っても、実は、そうではないかもしれません。いないことにされている社会だから言えない、だから気付かないのかも。誰もが多様な性を生きていて、どのあり方も大切です。多様な性のあり方を認め合い、誰もが自分らしく生きていける社会をつくっていきましょう。

